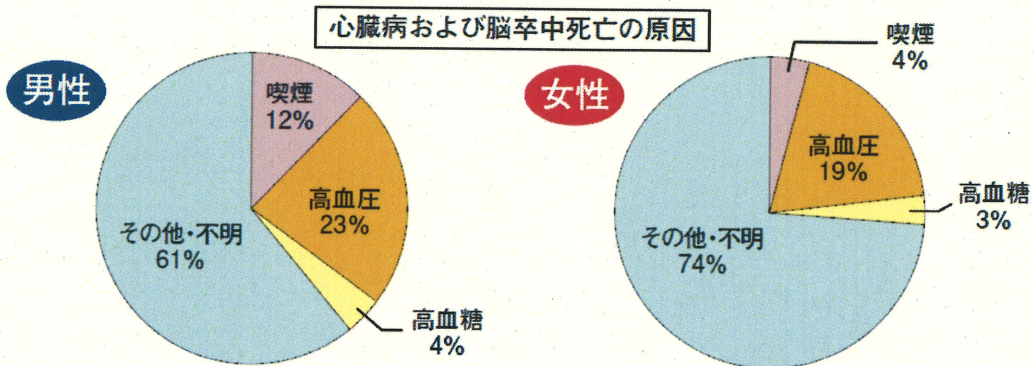


茨城県保健福祉部保健予防課
健康づくりグループ(029-301-3229)
茨城県立健康プラザ
健康づくり情報部(029-243-4216)

脳卒中などの生活習慣病と生活習慣の関連を調べるため、皆さんの健診結果を匿名化(個人が特定できるデータ(住所・氏名)を削除すること)したうえで利用させていただいております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

● 15年間の調査結果からこんなこともわかってきました!!

◆もし、喫煙、高血圧、糖尿病を完全に予防できれば、心臓病や脳卒中などの循環器疾患死亡者のうち、男性では4割、女性では3割の人が助かる可能性が高いことがわかりました。

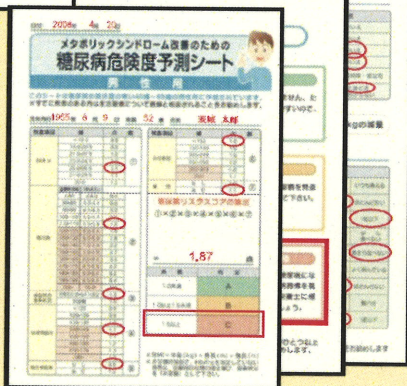


● これまでの調査結果から作成しました!!

◆茨城県では、茨城県立健康プラザの指定管理者に委託し、平成5年度の市町村住民健診受診者約10万人(40歳~79歳)のその後の健康情報を調査し、次のツールを作成しています。

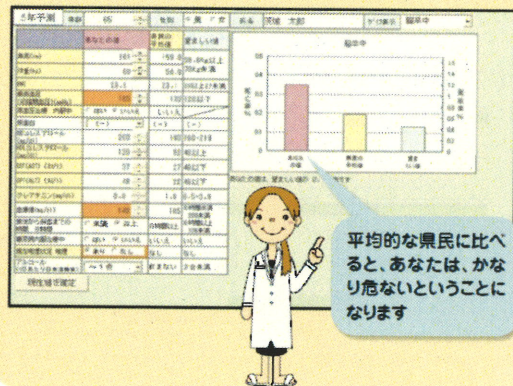
● 糖尿病危険度予測シート (県独自)

平成19年度に開発し、個人の健診結果をシートに記入することにより、将来、糖尿病にどれくらいかかりやすいかが数値(リスクスコア)で確認できます。



● 脳卒中危険度予測ツール (県独自)

平成17年度に開発し、個人の健診結果をパソコンソフトに入力すると、5年、10年、15年以内に脳卒中等で死亡する危険度が予測できます。



「健診受診者生命予後追跡調査」についてのお願い

◎ 茨城県では、平成5年度当時の県内38市町村の協力を得て、当該年度の市町村住民健診受診者約10万人（当時40歳～79歳）のその後の健診データ等を調査することにより、県民の皆様の健康づくりに役立つツール・資料等を公開、提供してきております。

これまで、平成27年までの22年間の調査を終了しておりますが、更に調査の精度を高め、よりよい健康情報を提供していくため、今回、調査期間を延長し、平成33年の状況まで調査を行っていくことといたしました。

つきましては、平成5年当時に市町村住民健診を受診されました方々（当時40歳～79歳）の平成33年までの健診データの利用に、何卒ご理解、ご協力を下さいますようお願いいたします。

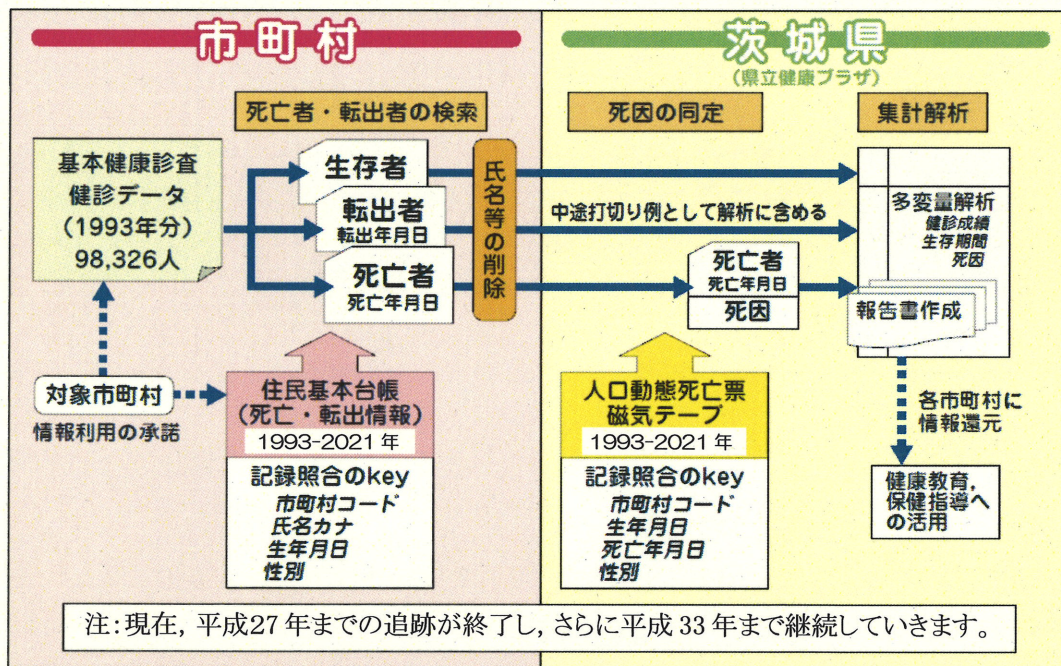
なお、健診データは匿名化したうえで県に提供されていますが、ご希望があれば個々の健診データを調査の対象から除外することも可能です。（但し、除外の申し出があった以後のデータに限ります。）

調査対象から除外することになりましても不利益な扱いを受けることはありませんので、ご希望のある方は本書記載の担当窓口までご連絡ください。

◎ なお、このような研究を全国規模、世界規模で行っている研究グループ（大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究班、アジアコホート連合）に対し、データを提供することもあわせて実施することとしております。）

◎ 利用するデータにつきましては、国が示している「疫学研究に関する倫理指針」に沿って、個人情報保護を第一に考え、住所、氏名を削除したうえで使用しています。また、データが他の目的で使用されることはありません。

● 健診受診者生命予後追跡調査の実施方法は下記のとおりです。



● 個人情報の取扱いに十分配慮しながら、調査を行っています。